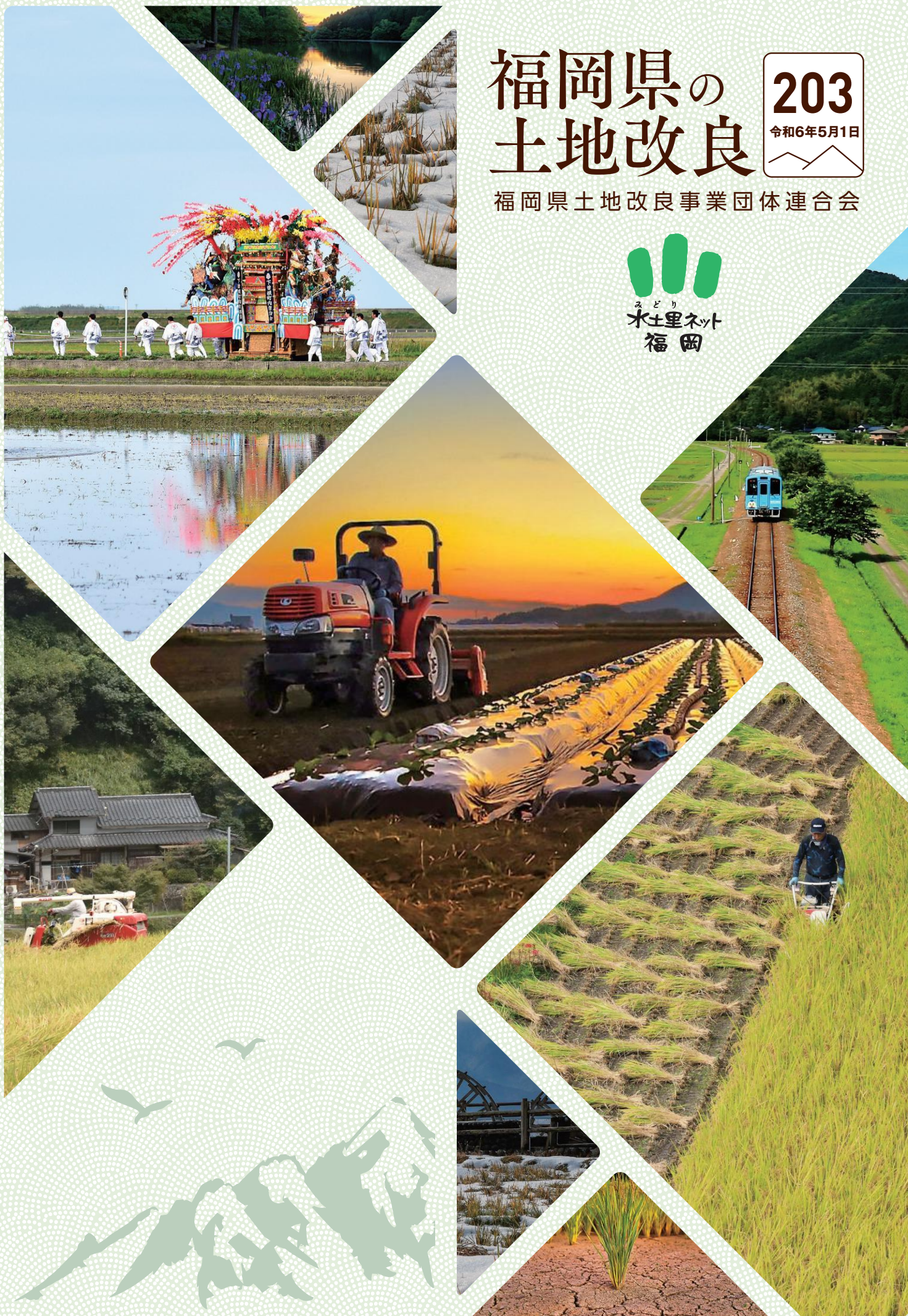


福岡県の 土地改良

203

令和6年5月1日

福岡県土地改良事業団体連合会



福岡県の土地改良

福岡県土地改良事業団体連合会

203

目次

- 1 会長あいさつ
- 2 専務理事あいさつ
- 3 令和5年度 第3回理事会
令和6年度 第1回理事会
- 4 第67回 通常総会
- 5 令和5年度 土地改良功労者表彰
- 6 全国水土里ネット 第66回通常総会
第65回全国土地改良功労者等表彰
- 8 第19回 水土里のふるさと写真コンテスト 入賞作品
- 10 都道府県土地改良事業団体連合会・会員土地改良区 事務責任者会議
農業農村整備広報会議ブロック代表事務責任者会議
都道府県土地改良事業団体連合会・会員土地改良区 事務責任者会議
土地改良事業団体連合会九州協議会 事務責任者会議 会長・事務責任者会議
- 11 福岡県ため池管理保全支援センター～取組状況～
- 12 土地改良農業用施設賠償責任保険のご案内
土地改良施設管理活動中の傷害保険のご案内
- 13 非補助農業基盤整備資金のご案内
土地改良事業に関する助言及び指導
財務管理強化相談等のご案内
- 14 人事(連合会)
令和5年度 退職者、令和6年度採用職員を紹介
- 16 人事(県)

【裏表紙】 第46回 全国土地改良大会(千葉大会)
九州ロゴマークのご案内

【発行所】	福岡県土地改良事業団体連合会 福岡市博多区千代4-4-28 TEL 092-642-1881
【編集】	総務課
【表紙】	第19回 「水土里のふるさと写真コンテスト」 受賞作品の一部を掲載しております



ご挨拶

福岡県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット福岡)

会長 たかき 高木 のりお 典雄

新緑の色増す季節となりましたが、会員の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会の運営につきましては、日頃より特段のご高配を賜りますとともに、農業農村整備事業の推進に多大なご尽力、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

まず、元日に発生しました、「令和6年能登半島地震」により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地域の皆様の安全・安心の確保、そして一日も早い復旧・復興を心からお祈りいたします。当会からも職員を石川県へ派遣し、農業用施設の被災状況の調査や機材の送付などの支援を行っているところであり、今後とも必要な支援を行って参ります。

さて、農業・農村を取り巻く状況は、ロシアによるウクライナ侵攻や円安などによる燃料価格の高騰と、これに伴う建設資材価格の上昇や建設事業者等の構造的賃上げへの対応等、厳しさを増しています。さらに、電気料金や農業資材価格の上昇は、農業従事者や用排水機場等を管理する土地改良区にとって死活問題となっています。

農村地域においては、過疎化や農業従事者の高齢化に伴い、農地・農業用施設の保全管理に支障をきたしており、頻発する集中豪雨等の自然災害は、農業だけではなく農地やため池を含む農業用水利施設等に甚大な被害を及ぼしており、健全な農業・農村の保全への影響が懸念されています。

こうした状況の中、昨年末には令和5年度の補正予算と令和6年度の農林水産予算の概算決定がなされ、農業農村整備事業関係予算は全体で約100億円増の6,240億円、当初予算も4,463億円と前年度を上回る予算が確保されました。これも皆様方のご理解ご協力によるものと深く感謝申し上げます。

また、国は、「農政の憲法」と言われる「食料・農業・農村基本法」の改正案を2024年通常国会に提出され審議される予定であり、これに伴って土地改良法の見直しも今後検討されており、食料安全保障や防災・減災対策の推進など土地改良の役割はさらに重要になってくると考えております。

本会といたしましては、会員の皆様のニーズに応えるため、関係機関と一体となって農業農村整備事業の計画的・安定的な推進に努力して参りたいと考えております。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念いたしますとともに、本会に対して今まで同様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年5月



ご挨拶

福岡県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット福岡)

専務理事 いん 因 こういちろう 孝一郎

各市町村並びに土地改良区の会員の皆様方には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素から当会の運営並びに農業農村整備事業の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、第67回通常総会、令和6年度第1回理事会において選任をいただき、4月1日から専務理事に就任いたしました因でございます。会員の皆様には、今後、様々な機会でお世話になることと思いますが、よろしくお願い申し上げます。

本年、元日に石川県能登地方を震源とする「令和6年能登半島地震」が発生し、北陸地域を中心に甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、地球規模の異常気象に伴う大規模災害の発生やロシアのウクライナ侵攻及び中東における軍事紛争が続いており、国際的な混乱が心配されております。

国内においては、農業従事者の高齢化や減少が進んでおり、農地や農業用水利施設の管理に支障が生じているほか、資材価格と電力料金の高騰により、食料生産や安定供給の基となる農地や農業用水利施設を管理している土地改良区の運営に影響を及ぼしております。

福岡県では豪雨災害が頻発化・激甚化しており、県内で甚大な被害が発生している状況であり、農地、農業用水利施設の復旧はもとより、防災対策が急務となっております。特に農業用ため池が被災した場合の影響は計り知れず、決壊ともなると尊い人命を失うとともに、ライフラインへの影響も懸念されます。

現在、福岡県の防災重点農業用ため池の数は、約3,500ヶ所と多く、劣化調査や豪雨耐性・耐震の診断が順次行われている最中であり、今後は、こうした調査・診断結果を踏まえつつ、地域の実情に応じた防災対策を行っていくことに加えて、適切な保全管理が重要となっております。当会では、令和2年に「福岡県ため池管理保全支援センター」の相談窓口を設置し、ため池の機能と安全が確保されるよう管理者に対し助言などを行っているところです。

当会としましては、国及び県との連携を図り、農地や農業用水利施設の維持保全、防災・減災対策など、会員市町村、土地改良区の皆様の声を聞きながら誠心誠意努力していく所存ですので、今後ともお力添えを賜りますようお願い致します。

結びに、本県の農業農村の健全な維持・発展と、会員の皆様のご活躍を祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和6年5月



令和5年度 第3回理事会

日時：令和6年1月15日(月) 午後1時30分～

場所：水土里ネット福岡 4階役員会議室

本会は、福岡県農林水産部農山漁村振興課の山口課長、農村森林整備課の吉富参事補佐兼管理係長同席のもと、令和5年度第3回理事会を開催しました。提出された議案は慎重に審議され、いずれも原案どおり可決承認されました。

- 【議事】 第1号議案 令和5年度 第2回理事会議案の専決処分について
第2号議案 令和5年度 上半期監査報告について
第3号議案 福岡県土地改良事業団体連合会職員給与規程の一部改正について
第4号議案 第67回通常総会について



令和6年度 第1回理事会

日時：令和6年4月1日(月) 午後3時30分～

場所：水土里ネット福岡 4階役員会議室

本会は、福岡県農林水産部農村森林整備課の山口課長、農山漁村振興課の松本課長、農村森林整備課の吉富参事補佐兼管理係長同席のもと、令和6年度第1回理事会を開催しました。この理事会において因孝一郎氏が専務理事に選任され、提出された議案は原案どおり可決承認されました。

- 【議事】 第1号議案 福岡県土地改良事業団体連合会電子取引データの訂正及び
削除の防止に関する事務処理規程の制定について



第67回 通常総会

令和6年2月22日(木)午前10時30分より、水土里ネット福岡5階大会議室において第67回通常総会を開催しました。会員114名が出席した総会には、来賓として九州農政局農村振興部長の植野栄治氏をはじめ、福岡県農林水産部次長の中馬俊介氏ほか多数のご来賓に出席を賜りました。

総会は田頭副会長理事の開会のことばで始まり、長年にわたり土地改良事業の推進と発展に功績があった個人に対して表彰を行いました。

議案の審議では、議長に選任された宮ノ陣土地改良区の八尋理事長による議事進行のもと、提出した全ての議案が可決承認されました。決議についても満場の拍手で承認され、古野理事の閉会のことばで盛会裏に終了しました。



高木会長の挨拶



議事進行

決議

我が国の農業・農村は、人口の減少や農業従事者の高齢化により、農地や農業用水の管理・営農の継続が困難になるなど、様々な問題に直面している。
また、地球規模の異常気象に伴う大規模災害の頻発化、ロシアのウクライナ侵略による、肥料や農薬などの農業生産資材、燃料価格や農事用電力料金の急激な高騰により、我が国の食料安全保障並びに農業や地域振興に深刻な影響が危惧されている。

さらには集中豪雨や台風等の自然災害は、農業だけでなく農地やため池を含む農業用施設に甚大な被害を及ぼしており、また、農村においては過疎化、高齢化に伴う地域活力の減退に加え、農業用施設の老朽化による機能低下により、食料の安定供給や健全な農業・農村の保全への影響が懸念されている。

農業・農村は、国の大本であり、安心・安全な食料を安定的に供給するとともに、豊かな国土や自然環境を形成し、潤いある国民生活を支えてきた。これも農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。

このため、国や県の施策に基づき、農地の大区画化・汎用化等の農業生産基盤の整備を効果的に実施し、担い手への農地の集積・集約化を加速するとともに、用排水機場等を管理する土地改良区の運営基盤の強化に積極的に取り組むことと、食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、農地や農業用水等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していかなければならない。

このような現下の農業・農村を巡る厳しい現状を踏まえ、左記事項について総会の名において決議する。

記

- 一、農業・農村の振興に関する施策を計画的・安定的に行うための農業農村整備事業当初予算の確保
- 一、頻発する自然災害からの復旧・復興に係る財源の確保及び防災減災対策に取り組む農村地域に対する支援
- 一、農業水利施設の適切な保全管理に関する支援及び防災重点農業用ため池の防災工事等に係る予算の確保
- 一、担い手への農地集積の加速化に向け、農業の生産基盤整備のさらなる推進
- 一、燃料価格や農事用電力料金の高騰への対応など土地改良区の運営基盤強化に対するさらなる支援

令和六年二月二十二日

福岡県土地改良事業団体連合会 第六十七回通常総会

令和5年度 土地改良功労者表彰

表彰された方々 (順不同 敬称略)

〈個人の部〉

【会員の代表者等】



柳川みやま土地改良区 理事長
久保 泰道 氏



鳥飼西田土地改良区 理事
宮原 恭明 氏

【会員の職員】



前田土地改良区 事務局長
末松 六則 氏



耳納山麓土地改良区 総務係長兼徴収係長
原田 洋平 氏



筑後川土地改良区 企画財政課 主任
田中 健太郎 氏



五徳土地改良区 職員
神崎 真由美 氏



大木町土地改良区 職員
徳永 智佳子 氏

第66回 通常総会

全国水土里ネットは、令和6年3月26日（火）午後1時より全国都市会館において、第66回通常総会を開催しました。閉会後は、シェーンバッハ・サボーヘ会場を移して午後3時より、全国水土里ネット表彰式が執り行われました。

福岡県からは、下記団体個人さまが各賞を受賞されました。

全土連会長賞

団体表彰 宮若市吉川土地改良区
個人表彰 筑後川下流土地改良区連合
理事長 金子 健次 氏

農林水産省農村振興局長表彰

団体表彰 山田堰土地改良区



第65回全国土地改良功労者等表彰



全土連会長賞 団体表彰
宮若市吉川土地改良区



全土連会長賞 個人表彰
筑後川下流土地改良区連合
理事長 金子 健次 氏



農林水産省農村振興局長表彰
山田堰土地改良区

決 議

現在、国際社会は、地球規模の異常気象、ロシアのウクライナ侵略、世界的な物価高騰など、様々な問題に直面している。また、我が国の農業・農村も、農業者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理や営農の継続が困難になるなど、様々な問題に直面している。さらに、電力料金の高騰は、用排水機場等を管理する土地改良区にとって死活問題となっている。

これらの国内外の様々な問題に対応していくため、令和4年度から、食料・農業・農村基本法の見直し作業が進められてきた。

土地改良に関しては、これまでもその時々状況に対応して制度見直し等を行いつつ、農地の大区画化や汎用化等の整備とその集積・集約化、スマート農業やGXの展開に向けた基盤整備、農業水利施設等の維持・更新、洪水被害防止対策やため池の耐震化等の農村地域の防災・減災対策などを進めてきたところであるが、今般の基本法の見直しを踏まえ、幅広い関係者の意見を集約・反映させながら、更に必要な見直しや施策の拡充を行い、食料安全保障の強化や国土強靱化を一層推進していくことが重要となっている。

このような状況の中、水土里ネットには、食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、先人達のたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の地域資源を健全な状態で次世代に継承していく責務がある。併せて、能登半島地震などの大規模災害が発生する中であっても、国民の生命と財産を守るため、農村地域の防災・減災対策等の国土強靱化を継続的に推進していくことが求められている。このため、水土里ネットが有する技術、経験など持てる能力を最大限に発揮すべく、男女共同参画を推進しつつ、引き続きその体制強化を図っていく必要がある。

土地改良関係予算については、「闘う土地改良」の下、組織を挙げて様々な活動を行った結果、令和5年度補正予算、令和6年度当初予算を合わせて、本年度を上回る6,240億円を確保することができた。水土里ネットは、この予算を活用し、農業・農村の発展に向け、積極的な貢献を果たしていく覚悟である。

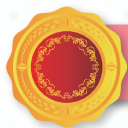
全国の水土里ネットは、培ってきた経験と技術を活用し、「闘う土地改良」のスローガンの下、一致団結して、次の事項の実現を図ることを総会の名において決議する。

記

- 一 土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。
- 二 食料・農業・農村基本法の見直しを踏まえ、土地改良法や関連する支援制度の充実を図ること。
 - ① 保全管理の明確化など土地改良法の目的・原則の拡充
 - ② 施設の老朽化や突発事故の増加等が進む中で、国等の発意で行う事業の拡充などを含め、施設の更新整備を円滑に行うための環境整備
 - ③ 土地改良区の運営基盤の強化や、地域における農業水利施設の適切な保全管理に向け、市町村をはじめ関係機関の連携等を促進する仕組みの創設
 - ④ 防災・減災対策や被災後の改良復旧を促進するための拡充
 - ⑤ スマート農業を促進する情報通信基盤整備の位置付けの明確化
 - ⑥ 多面的機能支払や中山間地域等直接支払について、土地改良区等の多様な組織の参画を促進しつつ取組を強化するための拡充 等
- 三 農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、スマート農業の導入やほ場周りの管理の省力化を促す農地整備を推進すること。
- 四 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めること。あわせて、農村地域の国土強靱化のため、基幹から末端に至るまでの農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を推進するとともに、燃料価格や電力料金が高騰する状況下においても安定的な用水供給等が可能となるよう対策を推進すること。
- 五 ICT、AI等を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化等を図る取組を推進するとともに、中小規模の土地改良区を対象とした合併など、土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 六 上記事項の推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮すること。

第19回

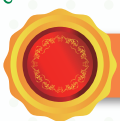
水土里のふるさと 写真コンテスト



最優秀賞(福岡県知事賞)



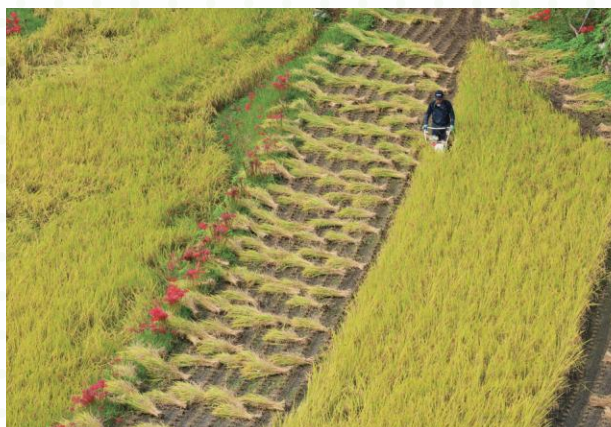
「夕暮れの農作業」 丹生 昇一 氏(撮影:福岡市西区)



優秀賞(福岡県土地改良事業団体連合会長賞)



「豊作祈願」 大六野 修吉 氏(撮影:北九州市小倉南区)



「今年も豊作」 新原 淳一 氏(撮影:八女市)

第19回 水土里のふるさと写真コンテストは令和6年1月15日に審査会を行い154点の応募作品の中から入賞作品18点を選出しました。

また、令和6年度も第20回写真コンテストの応募作品を募集していますので皆様のご応募をお待ちしています。



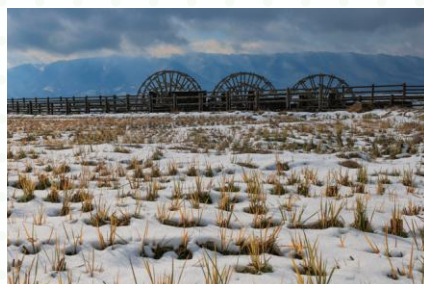
入選(福岡県土地改良事業団体連合会長賞)



「善蔵溜池の夜明け」 成清 平和 氏(撮影:八女市)



「山里の初夏」 原田 富男 氏(撮影:みやこ町)



「芽生え」 安岡 義之 氏(撮影:朝倉市)



「里山の秋」 百瀬 可達 氏(撮影:東峰村)



「水が欲しいよ」 高群 純一 氏(撮影:福岡市西区)



佳作(西日本新聞社・西日本写真協会賞)



「昼食タイム」
山川 信雄 氏
(撮影:うきは市)



「稔りの秋」
箕田 義己 氏
(撮影:うきは市)



「田園パッチワーク」
濱地 伸次 氏
(撮影:福岡市西区)



「夕暮れの田園」
東 保彦 氏
(撮影:篠栗町)



「麦畑」
福原 良一 氏
(撮影:筑紫野市)



「夫婦で水やり」
高橋 重隆 氏
(撮影:久留米市)



「早朝の山里」
立花 薫 氏
(撮影:みやこ町)



「取り入れの頃」
桑原 美知子 氏
(撮影:久留米市)



「棚田を刈る」
平川 信太 氏
(撮影:うきは市)



「雨上がりの朝」
吉村 哲也 氏
(撮影:八女市)



都道府県土地改良事業団体連合会・会員土地改良区 事務責任者会議

日時：令和6年1月10日(水) 午後1時00分～

場所：水土里ネット福岡 4階会議室【WEB会議】

全国水土里ネット主催の都道府県土地改良事業団体連合会・会員土地改良区事務責任者会議がWEBで開催され、令和6年度農業農村整備事業等予算(概算決定)等について協議を行いました。



農業農村整備広報会議ブロック代表事務責任者会議

日時：令和6年2月22日(木) 午前11時00分～

場所：水土里ネット福岡 4階会議室【WEB会議】

全国水土里ネット主催の農業農村整備広報会議ブロック代表事務責任者会議がWEBで開催され、令和5年度実績、令和6年度活動方針及び予算(案)等について協議を行いました。



都道府県土地改良事業団体連合会・会員土地改良区 事務責任者会議

日時：令和6年2月22日(木) 午後1時30分～

場所：水土里ネット福岡 4階会議室【WEB会議】

全国水土里ネット主催の都道府県土地改良事業団体連合会・会員土地改良区事務責任者会議がWEBで開催され、第66回通常総会提出議案及び令和6年能登半島地震に係る被災地支援のための水土里ネット支援金の中間報告等について協議を行いました。



土地改良事業団体連合会九州協議会 事務責任者会議 会長・事務責任者会議

日時：令和6年3月13日(水)

午後3時00分～(事務責任者会議)

午後4時10分～(会長・事務責任者会議)

場所：水土里ネット福岡 5階大会議室

土地改良事業団体連合会九州協議会は、事務責任者会議、会長・事務責任者会議を開催しました。

事務責任者会議では、令和6年度九州協議会政策提案要請項目について、第65回全国土地改良功労者等表彰審査結果について等の協議が行われ、会長・事務責任者会議では、国・全土連からの情勢報告がありました。





福岡県ため池管理保全支援センター～取組状況～



福岡県ため池管理保全支援センターは、民間の農業用ため池管理者に対し、日常管理における助言・現場技術指導、現地パトロール(管理状況調査)、普及啓発などを行い、ため池管理の質を高め、適切管理の促進と整備の加速化を図ることを目的とし、令和2年4月に開設されました。

ため池管理保全支援センターの活動

ため池管理保全支援センターでは、以下の項目を主に活動を行っております。

【助言・現場技術指導】管理者から相談を受け、専門技術者が助言や技術的指導を行う。

【現地パトロール(管理状況調査)】民間管理の農業用ため池を対象に管理状況の調査を行い、堤体や取水・排水施設等に変状がないか確認する。

【普及啓発活動】様々な状況を想定し適切な管理方法の講義・研修会を行う。



助言・現場技術指導



現地パトロール(管理状況調査)



普及啓発活動

ため池管理保全支援センターのホームページのご案内

当ため池センターでは、ホームページを公開しております。

前述の活動内容に加え、これまで行われた「ため池設計工事研修会(行政向け)」の動画視聴や、「県内ため池マップ」「ため池マニュアル」「ため池見回りチェックシート(簡易版)」等の入手が可能です。また、「各種ため池に関する書類の様式」も提示しておりますので、是非ご活用ください。

また、現在公開している内容のみならず、今後ともため池に関する様々な情報を公開していきます。



福岡県ため池管理保全支援センター

検索





土地改良農業用施設賠償責任保険のご案内

～いざという時のお守りとして保険に加入できます～

◆この保険の主旨

この保険は、農業用排水路、道路、溜池、頭首工の所有者である市町村、土地改良区等が、所有、使用または管理する施設・設備に起因して生じた偶然な事故、または、業務の遂行によって生じた偶然な事故により、第三者に身体障害や財物損壊を与えた場合に、法律上の賠償責任を負担することによって被る損害を保険金としてお支払いします。

- 保険期間／1年間
- 契約者／福岡県土地改良事業団体連合会
- 加入対象者(被保険者)／福岡県土地改良事業団体連合会の会員の皆様

※加入申込書にご記名・ご捺印のうえ、用排水路、道路、溜池、頭首工の明細書及び位置図(保険加入対象部分を朱書)を添えてお申し込みください。
また保険料につきましては、お申し込み時にお支払いください。

新プランを追加しました!!

◆保険料及び保険金額のご説明

保険期間1年				
保険の目的	用排水路	道 路	溜 池	頭 首 工
プランA 年間保険料	1kmあたり 1,500円	1kmあたり 1,000円	周囲1kmあたり 3,200円	1箇所あたり 2,000円
プランB 年間保険料	1kmあたり 1,700円	1kmあたり 1,400円	周囲1kmあたり 3,400円	1箇所あたり 2,200円

補償内容	保険金額(お支払い限度額)	免責金額(自己負担額)
身体賠償(人身事故の場合)	プランA・B共通 1名……………1億円 1事故……………3億円	無し
財物賠償(物損事故の場合)	プランA：1事故…1,000万円 プランB：1事故…5,000万円	無し

※保険の目的ごとに算出した保険料の10円未満は四捨五入します。

※会員様ごとの最低保険料(保険の目的ごとに算出した保険料の合計額)は10,000円となります。

※過去5年以内に保険請求された会員は別途保険料を提示いたします。

お問い合わせ 総務部 総務課(本部) TEL 092-642-1881



土地改良施設管理活動中の傷害保険のご案内

◆補償される事故

土地改良区等の施設管理活動作業に従事する人が、職務に従事している間(職務遂行場所への通勤途上を含みます。)に偶然な事故によりケガをされた場合、保険金の請求ができます。

保険料(令和6年4月現在の一例)

[被保険者明細を省略・20名未満の場合]

プラン	死亡・後遺障害	入院日額	通院日額	保険期間	1人あたりの保険料
A-6	300万円	3,000円	1,000円	6ヶ月	4,370円
A-12	300万円	3,000円	1,000円	12ヶ月	8,740円
B-6	500万円	4,000円	2,000円	6ヶ月	7,440円
B-12	500万円	4,000円	2,000円	12ヶ月	14,890円

お問い合わせ 総務部 総務課(本部) TEL 092-642-1881



非補助農業基盤整備資金のご案内

土地改良区等が国からの補助を受けずに、かんがい排水やほ場整備、客土などの事業に取組み、農業生産基盤の整備・保全の推進を図る場合、(株)日本政策金融公庫等が、農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対して低利で融資する資金です。

なお、国の補助対象でない県または市町村単独による補助事業についても融資の対象となります。

●貸付限度額 複数年にわたる事業の場合、各年度とも土地改良区が当該年度に負担する額までとなっています。(ただし、融資は1件当たりの最低額は50万円となっています。)

なお、農業集落排水事業では、一部施設ごとに限度額を設定しています。

●貸付金利 (固定金利) 非補助一般 融資期間にかかわらず 1.10% (4月1日現在)

●償還期限 最長25年間(据置期間10年以内を含む)になっており、事業内容に応じて設定できます。

ご相談・
お問い合わせ

●県農林事務所(農村整備第一課)

●市町村役場

●農業協同組合

●福岡県信用農業協同組合連合会(融資営業部) TEL 092-711-3561

●(株)日本政策金融公庫 福岡支店(融資第二課) TEL 092-451-1780

●福岡県土地改良事業団体連合会(農村整備1課) TEL 092-642-1890



土地改良事業に関する助言及び指導

本会では、土地改良区等に対して以下のような事案についての助言・指導を行っています。

1. 土地改良事業に関する苦情、紛争への対応
2. 土地改良事業計画の作成、工事実施に関する指導
3. 事業主体の組織運営上の指導
4. 土地改良施設の管理に関する指導
5. 農業水利に関する指導
6. 土地改良法令に関する指導
7. 換地処分その他農用地集団化に関する指導
8. その他

定期相談日

毎月1回(第3水曜日)開設しています。(祝日の場合はその翌日)
緊急の場合は、開設日以外でも随時行っています。

窓 口

●総務課(本部) TEL 092-642-1881

●農村整備1課(本部) TEL 092-642-1890

●農村整備2課(北部事務所) TEL 0930-22-3655

●農村整備3課(南部事務所) TEL 0942-53-2294



財務管理強化相談等のご案内

本会では、土地改良区等に対して以下のような事案についての相談窓口を設置しています。

1. 複式簿記会計の有効活用
2. 指導監査の導入
3. 非補助土地改良事業の推進活動
4. その他の会計経理の課題

ご相談・
お問い合わせ

総務部 総務課 経理係(本部) TEL 092-642-1884

福岡県土地改良事業団体連合会

令和6年度 福岡県土地改良事業団体連合会 職員配置名簿(職員48+嘱託10=58名)

事務局	部	部長・次長	課(事務所)	課長(所長)	課長補佐	係
事務局 局長 木戸 剛 (58)	総務部 (19)	兼部長 木戸 剛 次長 長部 孝洋	総務課 (本部) (12)	森山 賢史	藤本 貴之	総務企画係
						経理係
						会員支援係
			情報管理課 (本部) (6)	川口 和典	上田 圭	情報管理係 (水土里情報センター)
	事業部 (38)	部長 鶴田 政伸 次長 佐竹 省悟	農村整備1課 (本部) (15)	三谷 竜一	伊藤 充裕 松原 理人	農村整備1係
						農村整備2係
						農村整備3係
						(ため池管理保全支援センター)
			農村整備2課 (北部事務所) (5)	今永 和弘	池上 明行	農村整備係
			農村整備3課 (南部事務所) (2)	八田 光生		農村整備係
			換地測量課 (本部) (14)	大濱 真喜 推進機構(出向) 吉武 正宏	古賀 敬士 磯田 正臣 今村 浩章	換地1係
						換地2係
						調査測量係

🌸。 半田専務理事、今まで大変おつかれさまでした 🌸。



半田 英彦 氏(専務理事)

令和6年度 職員配置表

(令和6年5月1日現在)

係 長	主 査	主 任	技師・主事	技師補・主事補	嘱 託
兼務 藤本 貴之		吉村 恵			(参与) 近藤 壽 (参与・企画指導専門員)
兼務 森山 賢史		古賀香奈美			岩田阿佐美 (企画指導専門員)
兼務 藤本 貴之	星野須美香	宮崎 正勝	梶原 茜		廣田 由美 大草 光子 臼杵 順子
氏家 俊一		神田 憲章	三牧 真也	谷川 陽仁 (試用職)	
江頭 淳		本田 崇		野中 明	(技術指導専門員) 田村 勝俊
廣瀬 由樹			後藤 建貴 江島菜々子		(技術指導専門員) 仲 秀樹
萩尾 誠				横澤彦之祐 永瀨 大喜 (試用職)	(技術指導専門員) 藤井 憲一
兼務 伊藤 充裕			兼務 後藤 建貴 兼務 江島菜々子		
高橋 由夏	岩本 龍二			西本 善喬	
					(技術指導専門員) 與田 博徳
肥後 瑠依			佐野 尚代 今永 恭介		
兼務 磯田 正臣			島 佑成		(技術指導専門員) 門畑 浩次
兼務 今村 浩章	楠本 仁志 甲斐田 圭			荒木隆之介 松岡 寛稀 (試用職)	

採用職員紹介

4月1日付 採用



総務部情報管理課
谷川 陽仁

このたび、情報管理課に配属されました谷川陽仁です。まだ分からないことも多くありますが、まずは自分で考え、それでも分からなければ、上司に聞き少しでも早く仕事に慣れ、立派な社会人になれるよう努めていきます。

私は高校時にボートをしており、大会では九州大会出場をしました。高校時代の集中力とやる気を活かして、仕事をがんばります。これからよろしくお願いします。



事業部農村整備1課
永瀨 大喜

このたび、農村整備1課に配属となりました永瀨と申します。これから社会人として過ごしていくうえで不安なことや慣れないことばかりですが、1日でも早く当会の業務や生活に慣れ、皆様の力になれるよう努めていきます。

私の趣味はゲームやカラオケがとても好きです。そして最近ではサッカーやバドミントンなどのスポーツにもはまっております。仕事と趣味を両立し、立派な社会人になれるよう頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

5月1日付 採用



事業部換地測量課
松岡 寛稀

このたび、換地測量課に配属されました松岡寛稀と申します。

前職は海上自衛隊で護衛艦の乗組員として電機関係の仕事に携わっていました。農業に関わる仕事は初めてで、わからないことばかりですが、少しでも皆様のお役に立てるよう精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

でも皆様のお役に立てるよう精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和6年度 福岡県農林水産部関係課

部長 中馬 俊介

次長 金作 志歩
次長 徳田 輝光

	課 長 等	補 佐 等	係 長 等
農林水産政策課	副理事兼課長 後藤 元 副課長 木村 健二 企画監 西川紀和視	課長補佐 福島 亘	兼総務係長 武下 紀夫
		企画広報主幹 中川 弘幸	予算・重点第一係長 (本課長補佐)
		企画主幹 田中 豪	予算・重点第二係長 谷口 優平
			予算・重点第三係長 堤 崇
			兼企画広報係長 藤井 清吾
			研究調整係長 宮沢 淳子
農山漁村振興課	課長 松本 隆浩 企画監 東 幸太郎 検査監 吉田 昌浩 検査監 渡邊 芳親	課長補佐 竹市 りか	兼中山間地域振興係長 箱田 美由紀
		課長技術補佐 藤原 浩二	技術管理係長 (兼検査員乙・東)
		検査員甲 村上 浩	入札係長 (本検査員甲・村上)
		検査員甲 東 克治	兼計画調整係長 北野 晶子
			兼森林計画係長 渡邊 康司
			森林保全係長 岩本 克也
農村森林整備課	課長 山口 聡 副課長 加賀 稔子 企画監 横山 彰	課長技術補佐 三笥 修三	農村総務係長 大塚 まゆみ
			兼管理係長 吉富 勝年
			基盤整備係長 村本 耕平
			兼農村整備係長 河内 良文
			兼農地保全係長 崎村 禎彦
			治山係長 坂本 信康
			兼林道係長 後藤 正光
水産振興課	参事 大内田俊彦		漁港整備係長 永野 洋
食の安全・地産地消課			生産安全係長 田中 賢太

他部・派遣等

環境部 廃棄物対策課	施設第二係長 古野 輝
県土整備部 水資源対策課	計画係長 中山 隆
監査委員事務局 監査第二課	監査主査 阿部 洋子
推進機構(出向)	農地利用調整戦略室長 岡部 聡
朝倉市杷木支所(出向)	改良復旧係長 阿部 俊行
	改良復旧係長 寺田 真喜
朝倉市朝倉支所(出向)	農林商工部長 宇津 正司

役付職員配置表

(令和6年4月1日現在)

	所長・副所長	課長・出張所長	係 長 等					
福岡農林	所長 池田 芳和 副所長 永松 倫子	総務 永田 富美代	庶務 上川 みゆき	会計 中山 幸樹				
		農山村振興 三浦 誠司	地域振興 山田 准士	農地 井原 亜樹				
		農業振興 飯田 邦博	農産・金融(補佐) 吉田 博孝	園芸・食の安全 富田 耕平	畜産(参補) 佐藤 充徳			
		農村整備第一 高倉 修二	管理 坂井 孝司	参事補佐 町 武久	計画 下島 洋一			
		農村整備第二 安東 利幸	整備第一 磯部 裕二	整備第二(参補) 富田 輝彦	整備第三 小牧 慶一			
		林業振興 角 達朗	林業振興(補佐) 甲斐 武浩	普及(参補) 坂本 住夫				
		森林土木 田中 晃志	治山第一 後藤 秀昭	治山第二 水田 隆英	林道(参補) 梶原 慎二			
朝倉農林	所長 古賀 央 副所長 前田 陽一	総務 古賀 清美	庶務(補佐) 岩橋 神奈子	会計 中尾 康子				
		農山村振興 岩隈 俊浩	地域振興 吉次 陽子	農地 馬場 信之				
		農業振興 佐々木 真二	農産・金融(補佐) 松尾 昭彦	園芸・食の安全(参補) 緒方 祐子	畜産(参補) 東 尚子			
		農村整備第一 堀下 久	管理 本田 恵子	参事補佐 渡辺 敬	計画(参補) 瀬口 優子	災害事業(参補) 上妻 英夫		
		農村整備第二 空閑 秀行	整備第一 山本 寛	整備第二(参補) 江頭 仁	用地 稲永 さと子			
		農村整備第三 吉田 浩二	副長(参補) 沖本 知俊					
		林業振興 本田 昌幸	林業振興(補佐) 占部 達也	普及(参補) 安藤 祐治				
		森林土木 福田 哲也	治山 嶋本 正輝	林道(参補) 田代 敦雄				
		合所ダム 石田 正博						
八幡農林	所長 山崎 一徳 副所長 岩田 雅代	総務 王丸 重昭	庶務(補佐) 林 史子	会計 芹口 好美				
		農山村・農業振興 木村 伸二	地域振興・農地(補佐) 野田 和美	農産・金融(参補) 大野 清美	園芸畜産・食の安全(参補) 内川 美由紀			
		農村整備 松本 匡浩	管理・計画(補佐) 鶴 高雄	整備(参補) 西村 和哲				
		林業振興 阿蘇品 典男	林業振興(補佐) 中村 宏一	普及 鷹野 宜則				
		森林土木 坂本 義文	副長 斉藤 健次郎					
飯塚農林	所長 佐伯 亮俊 副所長 酒見 洋子 参事 横山 学	総務 肘井 真一	庶務 池本 桂子	会計 川上 穂積				
		農山村振興 小野 晴美	地域振興 成山 秀樹	農地 宮崎 秀幸				
		農業振興 林 恵子	参事補佐 手島 里香	農産・金融 大野 恵子	園芸・食の安全 渡邊 生子	畜産 浅岡 壮平		
		農村整備第一 中山 雅夫	管理(補佐) 五十川 由加利	参事補佐 泉 篤史	計画 野田 直樹			
		農村整備第二 宮原 康隆	整備第一(参補) 溝上 直紀	整備第二 野田 賢吾				
		林業振興 佐藤 庸一	林業振興(補佐) 後藤 篤	普及 岡本 誠次				
		森林土木 小嶋 龍一	治山 井上 甲子郎	林道 甲斐 竜一				
筑後農林	所長 久保田 孝 副所長 渡邊 丈二	総務 神代 康弘	庶務(補佐) 松本 和裕	会計 野田 良子				
		農山村振興 徳永 優子	地域振興(参補) 北島 敬也	農地 田中 美穂				
		農業振興 國武 みどり	農産・金融(参補) 濱崎 康彦	園芸特産・食の安全 江藤 博文	畜産(参補) 近藤 裕隆			
		農村整備第一 新開 栄治	管理(補佐) 溝口 真也	参事補佐 田中 浩一	計画 木下 浩基			
		農村整備第二 原 康	整備第一 土井 博文	整備第二 持尾 理恵子	整備第三 円城寺 康博			
		農村整備第三 富田 陽一	整備第一(参補) 宮本 茂徳	整備第二 木村 徹				
		林業振興 川浪 博之	林業振興 河口 修	普及 川上 恭一				
		森林土木 神崎 功	治山(参補) 岩田 守	林道(参補) 松原 孝明				
行橋農林	所長 島川 義隆 副所長 外園 浩人 参事 瓜生 修	総務 山口 広美	庶務 有吉 希	会計(補佐) 佐藤 永子				
		農山村振興 大森 宏志	地域振興(参補) 石丸 知道	農地(補佐) 上野 達也				
		農業振興 道家 聖堂	参事補佐 田中 紀子	農産・金融 柳田 慶子	園芸畜産・食の安全 宮原 克典			
		農村整備第一 上村 茂一	管理 塚田 亮太	計画 井上 孝行				
		農村整備第二 永吉 剛志	整備第一(参補) 池之上 武	整備第二 重信 浩				
		林業振興 園田 義之	林業振興(補佐) 本田 晴政	普及(参補) 田中 卓				
		森林土木 高橋 滝夫	治山 武藤 清二	林道 大津 誠史				
農地開発事務所	所長 久富 輝良 副所長 白鳥 伸一 参事 岩崎 賢吾	庶務 川島 基伸	副長 仙頭 和子					
		工務 小森 繁	計画 上村 和義					
			工事(参補) 野口 善彦					



ふさの国から
飛び立て
水土里の恵み

力強く
未来に繋ごう
水土里の礎

第46回全国土地改良大会
千葉大会
幕張メッセ 2024 10.22 火
幕張イベントホール

 全国土地改良事業団体連合会
千葉県土地改良事業団体連合会

文化が集まる、未来が集まる。
 幕張メッセ
Makuhari Messe

制作協力:  千葉デザイナー学院 制作者: 飯嶋 吉佳



福岡県土地改良事業団体連合会

新しい農業・農村の環境づくりを支援し、都市と農村の共生を目指します。

水土里ネット福岡
ホームページへのアクセス
携帯はこちらから



〈九州ロゴマーク〉

九州・山口各県と経済界で定めた「九州」のマークです



本 部 〒812-0044 福岡市博多区千代4丁目4番28号
TEL 092-642-1881 FAX 092-642-1886
<http://mnf21.com>

農村整備2課 〒824-0005 行橋市中央1丁目8番7号
(北部事務所) TEL 0930-22-3655 FAX 0930-22-3282
E-mail: hokubu@mnf21.com

農村整備3課 〒833-0041 筑後市大字和泉 640番1
(南部事務所) TEL 0942-53-2294 FAX 0942-53-2742
E-mail: nambu@mnf21.com